

平成24年度 第1回

生きがい・介護予防分科会

資料 2

4 議事

(1) 生きがい・介護予防事業等の
実施状況について

生きがい・介護予防分野における 第三次高齢者支援計画（平成24～26年度）の目指すもの

基本理念

家庭、地域、社会全体で安心のきずなを結び、すべての市民が生涯を通じてその人らしく、いきいきと活躍できる“参画と共生のまちづくり”

～高齢者とその家族を地域で見守り、互いに支え合い、誰もが社会の一員としてまちづくりに参画できる地域社会の実現～

【基本目標】

【施策の方向性】

【基本的な施策】

いきいきと生活し、積極的に社会参加できるまち	1 健康づくり・介護予防の充実	1 生涯を通じた健康づくり、介護予防の推進 2 効果的な介護予防の取り組みの推進 3 健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実
	2 生きがい・社会参加・地域活動の推進	1 教養・文化・スポーツ活動の促進 2 社会参加のための人材育成・環境づくり 3 多様で主体的な社会貢献活動の促進

1 基本的な考え方

誰もが高齢期を迎える以前から健康づくりや介護予防に主体的に取り組む環境づくりを進めるとともに、高齢者の豊かな経験や多様な価値観を尊重し、生きがいを持って積極的に社会参加できる環境づくりに取り組むことにより、すべての市民が生涯を通じて、自らの持てる力を十分に発揮できるまちづくりを目指します。

2 各施策の方向性

【施策の方向性1】健康づくり・介護予防の充実

健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及啓発、各種検診や健診後の保健指導を通じた生活習慣病予防・重症化予防を進めるとともに、要介護状態等となるおそれの高い高齢者の早期把握・早期支援、地域における健康づくり・介護予防活動を促進するための人材育成・環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

（基本的な施策1）生涯を通じた健康づくり・介護予防の推進

生涯を通じた自主的な健康づくり・介護予防を推進するため、各種教室やイベント等を通じた健康づくり・介護予防に関する正しい知識の普及啓発、生活習慣病予防・重症化予防を目的とした各種検診や健診後の保健指導などに取り組んでいきます。

主な事業

健康マイレージ

- ・参加者数 H22 : 7,040 人 H23 : 9,440 人 [H26 目標 : 20,000 人]
- ・事業登録数 H22 : 1,666 件 H23 : 1,753 件
H24 : 2,562 件 (9/30 時点)

みんなで歩こう北九州(新)

- ・H23 年度は「みんなで歩こう1万キロ」として実施
参加チーム数 301 チーム 参加者数 903 名
- ・H24 年度は 129 市民センター単位でウォーキングマップを作成予定
[H26 目標 : 参加市民センター数 129 市民センター]

北九州市国民健康保険特定健診・特定保健指導

- ・特定健診受診率 H22 : 28.6% H23 : 31.1% [H24 目標 : 65%]
- ・特定保健指導実施率 H22 : 34.6% H23 : 27.5% [H24 目標 : 45%]

介護予防に関する普及・啓発事業

- ・実施回数 H22 : 2,121 回 H23 : 1,592 回
出前講演、各種教室・イベント等で介護予防事業を普及啓発した回数
- ・参加延人数 H22 : 21,661 人 H23 : 16,585 人
- ・H24 年度は、イベント「百万人の健康づくりフェスタ」を開催
2 月に講演会を開催予定
[H26 目標 : 介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 40%]

公園で健康づくり事業(新)

- ・教室参加者数 H23 : 107 人 [H26 目標 : 110 人]
H23 年度はモデル事業として実施
- ・H24 年度
「普及員養成講座」 4 回 × 2 会場(夜宮、勝山公園)で実施
「トレーニング教室」 12 回 × 1 会場(香月中央公園)で実施
「普及教室」 4 回 × 1 会場(大畠2号公園)で実施

(基本的な施策2) 効果的な介護予防の取り組みの推進

高齢者の生活状況や健康状態を確認するための基本チェックリストや様々な社会資源活用によって要介護状態等となるおそれの高い高齢者の早期把握に努めるとともに、高齢者の心身の状態に応じて通所型や訪問型の介護予防事業などによる支援を充実させ、より多くの高齢者を対象とした効果的な介護予防の取り組みを進めていきます。

主な事業

通所型介護予防事業

・教室参加者数 H22 : 791 人 H23 : 706 人 [H26 目標 : 1,270 人]

(基本的な施策 3) 健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実

市民がより身近な場所で主体的・継続的に健康づくりに取り組みことができるよう、地域における健康づくりや介護予防活動のけん引役となる人材の育成・活動支援、地域のネットワークの連携強化、市民センターや公園など身近な施設を活用した健康づくり事業などに取り組み、地域における健康づくり・介護予防活動を促進します。

主な事業

市民センターを拠点とした健康づくり事業

・実施まちづくり協議会数 H22 : 85 団体 H23 : 97 団体
H24 : 108 団体予定 [H26 目標 : 136 団体]

【施策の方向性 2】生きがい・社会参加・地域活動の推進

多様なライフスタイルに対応した教養・文化・スポーツ活動を通じて、仲間とふれあい、充実した生活を送ることのできる生きがいづくりを進めます。

また、高齢者が地域社会とつながりを持ち続け、豊かな知識や経験を活かしながら、世代間の交流や見守り・支援など多様な地域活動に主体的に取り組み、地域社会の担い手として活躍することのできる環境づくりを進めます。

(基本的な施策 1) 教養・文化・スポーツ活動の促進

高齢者が教養・文化を学ぶ場やスポーツ活動等の機会を提供するとともに、これらの活動を通じて高齢者が仲間と「ふれあい」ながら、いきいきと生活できるまちづくりを進めます。

主な事業

年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム運営事業

・延利用者数 H22 : 194,110 人 H23 : 194,188 人
[H26 目標 : 200,000 人]

(基本的な施策 2) 社会参加のための人材育成・環境づくり

年長者研修大学校や生涯現役夢追塾等での講座を通じて、地域社会の担い手としての高齢者の人材育成を進めます。また、活動へのきっかけづくりや社会貢献活動に関する情報提供の新たな仕組みづくりを進めるとともに、活動の場の提供や高齢社会に関する啓発など、様々な取り組みを推進し、高齢者が社会に参加できる環境づくりを進めます。

主な事業

高齢者いきがい活動支援事業（新）

市制 50 周年記念事業生涯現役夢追いサミットの開催（新）

（基本的な施策 3）多様で主体的な社会貢献活動の促進

高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かしながら、地域活動や就労を通して社会との「つながり」を持ち続け、いきいきと活躍できるよう、意欲と能力に応じた様々な分野での高齢者による主体的な社会貢献活動を促進します。

主な事業

介護支援ボランティア制度の実施（新）

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況

【施策の方向性1】健康づくり・介護予防の充実
(基本的な施策1)生涯を通じた健康づくり・介護予防の推進
 生涯を通じた自主的な健康づくりの推進

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
1	健康マイレージ事業 (健康推進課)	生涯を通じた健康づくりを推進するため、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズなどと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進します。また、さらに身近で参加しやすい事業となるよう、地域が主体となった仕組みを展開します。	参加者数 26年度:20,000人	参加者数 7,040人	参加者数 9,440人	健康マイレージ対象事業登録数 2,562件(9月30日時点)
2	(新)みんなで歩こう 北九州 (健康推進課)	地域住民が楽しく健康づくりに取り組めるように、市民センターを拠点とした地域の特色あるウォーキングコースを設定し、それをホームページで公表するなど地域が主体となった継続的なウォーキング事業の実施を促進します。	参加市民センター数 26年度:129センター			市内129市民センター単位でウォーキングマップを作成予定

生活習慣病予防・重症化予防のための各種検診の実施

No.	事業名	事業概要	目標	22年度	23年度実績	24年度実施状況
3	健康診査 (健康推進課)	がんなどの生活習慣病予防対策の一環として、これら疾患の疑いのある人や危険因子を持つ人をスクリーニングするため、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんなどの各種がん検診や、骨粗しょう症検診・若者(基本)健診を実施します。	がん検診受診率 24年度:50%以上	がん検診受診率 2.1~22.6%	がん検診受診率 2.1~22.9%	北九州市医師会への委託により、がん検診や若者健診、骨粗しょう症検診など各種の検診を1,000円以下で実施しています。また、一定の年齢の方が無料で子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診を受診できる「がん検診無料クーポン券」の配布や、企業やNPO団体との連携による「がん検診受診促進活動」等を実施しています。
4	歯ッピー・ヘルシー北九州事業 (健康推進課)	歯と口の健康は、美味しい食事や家族や仲間との会話を楽しむ等、生活の質の向上を図るための重要な要素です。生涯を通じた歯と口の健康づくりの一環として、成人期における歯科疾患の早期発見・早期対応を目的とした歯科検診や情報提供・普及啓発を実施することにより歯と口の健康づくりの推進を図ります。	歯周疾患検診受診率 26年度:8%	歯周疾患検診受診率 3.9%	歯周疾患検診受診率 4.5%	成人期における歯周病の早期発見・早期対応を行い、重症化の予防を図るとともに歯と口の健康づくりに対する意識の向上を図るため、歯周疾患検診を実施し、受診者拡大に努めます。また、口腔と全身の健康に着目した歯周病予防に関する啓発活動を行います。
5	北九州市国民健康保険特定健診・特定保健指導 (健康推進課)	生活習慣病を予防するための特定健診の受診率向上を図るとともに、効果的な特定保健指導を実施します。また、特定保健指導対象者以外にも、健診結果や医療費データ等を分析して健康課題を明確にし、効果的な保健指導を行います。さらに、慢性腎臓病予防に向けて、健診結果からかかりつけ医・専門医とをつなぐ予防連携システムを継続して運用し、生活習慣病予防及び重症化予防をめします。	特定健診受診率 24年度:65%	特定健診受診率 28.6%	特定健診受診率 31.1%	受診率向上の取り組み・・・被保険者証カバーへのPR記載、チラシ・ポスターの製作・配布、各種メディア・広報誌でのPR、出前講演、健康づくり推進員・生活改善推進員との連携、電話による個人受診勧奨 健診後の事後フォローの充実・・・特定保健指導対象外の方への保健指導、CKD(慢性腎臓病)予防連携システムの実施

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況
健康づくりや介護予防に関する正しい知識の普及・理解の促進

No.	事業名	事業概要	目標	22年度	23年度実績	24年度実施状況
6	介護予防に関する普及・啓発事業 (健康推進課)	介護予防への関心を高め、その重要性や正しい知識を広く周知するため、講演会や新聞・リーフレットなどを活用したPR活動を行います。また、地域主体の介護予防を促進するため、健康づくり推進員等の活動支援やスキルアップ研修を実施します。	介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 26年度:40.0%	介護予防の意味や意義を理解している高齢者の割合 38.6%		平成24年7月16日「百万人の健康づくりフェスタ」開催、リビング北九州「健康コラム」の連載(月1回)介護予防リーフレットの作成・配布予定、平成25年2月16日「健康づくり講演会」開催予定、健康づくり活動スキルアップ教室開催予定
7	百万人の介護予防事業 (健康推進課)	本市が開発したひまわりタイチャーやきたきゅう体操を通して介護予防の普及・啓発を図るとともに、高齢者が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組めるよう、ひまわりタイチャー普及員等の人材育成を図り、自主グループの活動を支援します。	教室参加者数 26年度:420人	教室参加者数 404人 イベント等を含む延参加者数15,680人	教室参加者数 425人	・ひまわり太極拳教室 4回開催 105人参加(実数) ・ひまわり太極拳普及員養成講座 1回開催 57人参加(実数) ・きたきゅう体操教室 1回開催 25人参加(実数) ・きたきゅう体操普及員養成講座 1回開催 37人参加(実数)
8	高齢者のための筋力向上トレーニング啓発事業 (健康推進課)	高齢者の日常生活に必要な筋力の維持・向上を図ることを目的として、ストレッチなど自宅でも継続して取り組むことのできる運動を中心とした筋力トレーニング教室を開催します。	教室参加者数 26年度:960人	教室参加者数 680人	教室参加者数 904人	・一般コース 13回×8会場×2期実施 370人参加(実数) ・準特定コース 13回×10会場×2期実施 240人参加(実数)
9	お口の元気度アップ事業 (健康推進課)	高齢期において口腔の機能を維持・改善することは、生活の質(QOL)の向上のために重要です。そこで、高齢者を対象とした口腔機能向上や口腔ケアについての意義、方法、効果等についての知識や技術を学ぶ教室、専門職による相談対応、出前講演による普及啓発等の様々な口腔機能向上のための事業を行い介護予防の推進を図ります。	事業延参加者数 26年度:8,700人	事業延参加者数 8,587人	事業延参加者数 8,004人	高齢者の日常生活において、支援や介護が必要な状態となることを予防し、健康長寿を実現するために、生活機能の維持・向上を目指す介護予防の意義や重要性、方法等についての正しい知識・技術の普及啓発が重要です。本事業について市民センターや住民組織を通じたPRに努め、事業を実施しています。
10	高齢者食生活改善事業 (健康推進課)	高齢者が「食べること」を通じて低栄養状態を予防し、自分に合った適正な食事を把握するための正しい知識と技術の普及・啓発を、対象者のニーズに合わせて講話や調理実演、個別相談など様々な形態で行います。高齢者が参加しやすいように、地域の市民センターや区役所で開催します。	事業延参加者数 26年度:8,500人	事業延参加者数 8,372人	事業延参加者数 8,488人	・おいしく食べて元気もりもり教室 開催回数:67回 参加者延べ数:2,605人 ・元気で長生き食卓相談 開催回数:34回 参加者延べ数:117人 ・シニア料理教室 開催回数:46回 参加者延べ数:1,193人
11	高齢者尿失禁予防事業 (健康推進課)	閉じこもりなどの生活機能の低下を招く原因の1つである尿失禁に関する正しい知識の普及啓発や尿もれ予防体操の実技指導、医師の個別相談などを行うことで、日常生活習慣の改善や生活の質(QOL)の向上を図ります。	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 26年度:250人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 44人	尿失禁予防教室・基礎講座参加者数 52人	・尿もれ予防講座 平成24年10月27日、11月17日、11月24日実施予定 ・女性のための尿失禁予防講座 平成25年1月～3月 2会場×8回 実施予定
12	元気でハツラツ健康アップ教室 (健康推進課)	生活機能の低下を予防するため、健康講座や運動を取り入れた教室を地域で開催します。また、健康づくり・介護予防活動のリーダー的役割を担う住民を育成し、地域に密着したグループ活動を住民が自主的に展開することをめざします。	教室実施箇所数 26年度:52箇所	教室実施箇所数 28箇所 実績は規定のプログラムで開始した教室のみ計上	教室実施箇所数 52箇所	・市内53箇所の予定で、地域の市民センター等で、65歳以上を対象に生活機能の低下に取り組む教室が実施されています。
13	(新)公園で健康づくり事業 (健康推進課)	高齢者等の健康づくりに効果的な健康遊具を設置した公園で、健康遊具の適切な利用法や運動方法を学ぶ健康づくり教室を開催するなど、身近な公園を活用した市民の継続的な健康づくり活動を支援します。	教室参加者数 26年度:110人		教室参加者数 107人	・公園で健康づくり普及員養成講座(夜宮公園、勝山公園) 4回×2会場実施 31人参加(実数)

**第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況
(基本的な施策2)効果的な介護予防の取り組みの推進**

二次予防事業対象者を早期に把握するための取り組み

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
14	二次予防事業対象者把握事業 (健康推進課)	高齢者の生活状況や健康状態を確認するための基本チェックリスト(厚生労働省規定)を活用して、要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者を把握・決定します。				平成23年度までは、基本チェックリストを基本チェックリストを全対象者(要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者)に送付し、生活機能評価(介護予防健診)を実施した上で二次予防事業対象者を把握していましたが、平成24年度からは、地域支援事業実施要綱改正へ対応し、対象者の把握を効果的に進めるために事業の見直しを行いました。二次予防事業対象者の把握は原則として基本チェックリストのみで行い、基本チェックリストの送付頻度を毎年から2年に1回に変更しています。

効果的な二次予防事業の実施

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
15	通所型介護予防事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い二次予防事業対象者に対し、運動器の機能向上教室や口腔機能向上教室を引き続き実施し、新たに運動、口腔、栄養のプログラムを組み合わせ合わせた教室を実施します。理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士、看護師などの専門スタッフの指導で、自宅でも継続して介護予防に取り組めるよう支援します。	教室参加者数 26年度:1,270人	教室参加者数 791人	教室参加者数 706人	・運動器の機能向上プログラム:年間50クール開催予定で実施しています。 ・口腔機能向上プログラム:31クール開催予定で実施しています。
16	訪問等による介護予防支援事業 (健康推進課)	要介護状態等となるおそれの高い高齢者に対し、保健師、看護師等が訪問などを行い、高齢者の生活機能に関する問題を総合的に把握・評価し、必要な支援を行います。さらに支援を充実させるため、管理栄養士等による訪問を行います。	訪問等で対応した人数 26年度:9,766人	訪問等で対応した人数 6,538人	訪問等で対応した人数 5,236人	平成24年度から二次予防事業対象者の決定方法を変更し、決定者数が増加したことにより訪問等で支援を行う数も増加傾向にあります。
17	高齢者地域交流支援通所事業 (高齢者支援課)	閉じこもりがちな高齢者などへ、運動・栄養・口腔ケアの総合的なプログラムにより、できるだけ自立した状態が長く続くよう、市民センターで、サービスの提供を行います。	利用登録者数 26年度:750人	利用登録者数 722人	利用登録者数 714人	実施回数:2,427回(50館合計)、延べ参加者数:27,650人

継続的な介護予防ケアマネジメントの実施

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
18	地域包括支援センター運営事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	生活機能低下におそれのある高齢者が、その心身の状況などに応じて介護予防事業や介護予防サービスなどを適切に利用できるよう、必要な援助を行います。				高齢者のための保健・医療・福祉の「総合相談窓口」として、地域包括支援センター(24ヶ所)及び統括支援センター(7ヶ所)計31ヶ所において、相談を受け、支援を行っています。

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況
(基本的な施策3)健康づくり・介護予防を支援する仕組みの充実
地域主体の活動の促進・環境整備

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
19	高齢者支援のための地域づくり事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	市民センターなどを拠点として、保健師を中心とする地域保健関係職員が、地域住民や関係機関と連携し、地域の実情に応じた保健福祉活動を協働で行います。この活動を通して地域福祉のネットワークづくりを支援します。				各地区で実施されている事業に地域保健関係職員等が参加し、地域福祉のネットワークづくりの支援を行います。 ・なんでも相談(成人・高齢者) 実施箇所 100箇所にて実施中 ・元気ではつらつ健康アップ教室 実施箇所 53箇所にて実施中 ・認知症予防講演会 実施箇所 7箇所にて実施中 ・認知症予防教室 実施箇所 18箇所にて実施中 ・その他健康教育・健康相談 実施箇所 150箇所にて実施中
20	市民センターを拠点とした健康づくり事業 (健康推進課)	地域の市民センター等を拠点として、市民が主体となって話し合い、目標設定、計画づくり、実践、事業評価をひとつのサイクルとした健康づくり事業を、まちづくり協議会、健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、行政(保健師等)などの連携により行います。	実施まちづくり協議会数 26年度:136団体	実施まちづくり協議会数 85団体	実施まちづくり協議会数 97団体	・本事業を新たに11団体広げ、市内108団体での展開を予定し、事業を進めています。

健康づくり・介護予防に携わる人材の育成・支援

22	健康づくり推進員の養成・活動支援事業 (健康推進課)	地域における健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、運動・栄養・休養に関する研修を行い、健康づくり推進員を養成します。また、健康づくり推進員が行う地域での健康づくり・介護予防に関する情報発信や、ウォーキング教室などの自主活動、知識の普及を支援	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 26年度:129センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 114センター	健康づくり推進員を複数配置する市民センター数 114センター	会員数...679人 平成25年1月～2月に養成研修実施予定 市民センター別配置数...1人以上:128、2人以上114(箇所)
23	(新)食生活改善推進員の養成・活動支援事業 (健康推進課)	食を通じた健康づくり・介護予防活動を推進するリーダーの育成のため、食生活と生活習慣病などに関する研修を行い、食生活改善推進員を養成します。また、食生活改善推進員が行う地域での食と健康等に関する情報発信や、健康料理普及講習会、ふれあい昼食交流会などの活動を支援します。	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 26年度:129センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 120センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数 120センター	食生活改善推進員グループが活動拠点とする市民センター数119センター 食生活改善推進員養成教室修了者数未定(累計5,455人) 活動未実施センターでの養成教室開講1ヶ所、大規模区(小倉南区と八幡西区)では年2回開講 ステップアップ研修、食中毒予防研修、献立試作会 開催回数:158回 参加者延べ数:2,693人 ふれあい昼食交流会栄養士支援回数:60回 参加者延べ数:2,587人

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況

【施策の方向性2】生きがい・社会参加・地域活動の推進

(基本的な施策1)教養・文化・スポーツ活動の促進

教養・文化活動などの機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
24	年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム運営事業 (高齢者支援課)	年長者研修大学校では、高齢者を対象とした講座を通じた生きがいづくりや仲間づくりに加え、地域活動や社会貢献活動を担う人材の育成を進めます。また、市内の大学と連携した校外授業(シニアカレッジ)の拡充を検討します。生涯現役夢追塾では、これから高齢期を迎える人等を対象に、産業活動や地域活動等の社会貢献活動を担う人材の発掘、育成を進めます。また、高齢者をはじめとした市民の健康づくりなどを行う北九州穴生ドームを運営します。	延利用者数 26年度:200,000人	延利用者数 194,110人	延利用者数 194,188人	平成24年度事業計画に基づき実施中です。
25	年長者いきいきクラブ運営事業 (高齢者支援課)	高齢者の生きがいを高めるため、陶芸、木彫、水彩画などの各種講座を「生涯学習センター」や「勤労青少年ホーム」などで開催します。		18講座 延受講者数6,684人	15講座 延受講者数4,229人	平成24年9月より15講座開講
26	年長者作品展 (高齢者支援課)	高齢者の創造の喜びと創作意欲を高め、生きがいづくりを支援することを目的に、高齢者が製作した作品の発表の場として作品展を各区で実施します。		・年長者作品展開催 6区 ・入場者数(6区合計) 約7,600人 ・出品点数(6区合計) 約1,900点	・年長者作品展開催 6区 ・入場者数(6区合計) 約7,500人 ・出品点数(6区合計) 約1,900点	・年長者作品展開催 5区 ・入場者数(5区合計)約5,100人 ・出品点数(5区合計)約1,400点
27	年長者施設利用証 広域連携事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会参加の促進を図るため、市立の文化、観光、体育施設など(福岡市や下関市の施設も一部含む)を無料又は割引料金で利用できる「高齢者施設利用証」を交付します。		延利用者数579,179人	延利用者数570,060人	対象施設数 ・市内市立施設 111施設 ・下関市 10施設 ・福岡市 12施設 等

生涯スポーツ活動の機会提供と活動支援

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
29	全国健康福祉祭北九州市選手団派遣事業 (高齢者支援課)	各種スポーツや文化・福祉イベントを通じて、高齢者の健康の保持増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進するため、各県持ち回りで毎年開催される「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」に北九州市選手団を派遣します。		選手団 14種目 107人	選手団 16種目 117人	第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会(ねんりんピック宮城・仙台2012)へ北九州市選手団を派遣。14種目に出場。
30	高齢者の健康づくりモデル事業(スポーツ教室) (高齢者支援課)	スポーツを通じて高齢者の健康づくりを行うとともに、高齢者が気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図ることを目的に、北九州穴生ドームでシニア健康スポーツ教室、ニュースポーツ体験教室などを実施します。		延参加者数25,145人	延参加者数22,847人	・健康ボランティア養成研修 ・各種ドーム杯 ・ニュースポーツ大会 ・ニュースポーツ無料開放 ・ニュースポーツ出前事業 ・健康ウォーキング
31	高齢者の水中歩行教室 (高齢者支援課)	高齢者の生きがいと健康づくりを支援するため、水中歩行運動を中心とした教室を開催します。		実施会場7会場 延参加者数3,961人	実施会場7会場 延参加者数4,136人	・実施会場 7会場(実施中)
32	シルバースポーツ大会開催助成 (高齢者支援課)	スポーツを通じた高齢者の生きがいづくりを促進するため、60歳以上の高齢者が過半数参加する全市的なスポーツ大会の開催経費の一部を助成します。		4種目4団体へ助成	5種目5団体へ助成	4種目4団体へ助成。

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況
(基本的な施策2)社会参加のための人材育成・環境づくり
 地域社会の担い手となる人材の育成

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
37	ボランティア大学校運営事業 (いのちをつなぐネットワーク推進課)	地域ニーズに対応した研修内容の充実、研修機会の拡大に努め、地域福祉やボランティア活動を担う人材の養成を行います。	ボランティア大学校の研修の受講者数 26年度:2,400人	ボランティア大学校の研修の受講者数 2,179人	ボランティア大学校の研修の受講者数 2,402人	・ボランティア活動者スキルアップ研修(9回:99人) ・地域活動支援者研修(15回:692人) ・地域活動者研修(1回:22人)

活動のための情報や場の提供

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
43	(新)高齢者いきがい活動支援事業 (高齢者支援課)	高齢者の社会貢献や生きがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア活動、生涯学習、仲間づくり情報などの収集や情報提供を行います。				事業開始に向け準備中です
44	年長者いこいの家 (高齢者支援課)	地域の高齢者に対して、教養の向上及びレクリエーション活動などの場を提供し、心身の健康増進を図るため、年長者いこいの家の運営及び活動に必要な経費の補助や、建物の修繕・補修工事を実施します。		延利用者数337,659人	延利用者数317,699人	年長者いこいの家の設置状況 ・市立年長者いこいの家 160館 ・私立年長者いこいの家 15館
45	新門司老人福祉センターの管理運営 (高齢者支援課)	高齢者に対して、介護予防の視点に立ちながら各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動を提供する場の運営を行います。	年間総利用者数 26年度:57,000人	年間総利用者数 55,524人	年間総利用者数 54,485人	平成24年度事業計画に基づき実施中です。
47	老人クラブ活動の促進 (高齢者支援課)	老人クラブの地域社会における社会奉仕活動等を促進し、高齢者福祉の増進を図ります。また、老人クラブが、地域における世代間交流を深めるとともに、地域社会の一員として介護予防への取組みを行うなど、積極的な役割を果たすことができるよう支援を行います。 単位老人クラブへの助成、市・区老人クラブ連合会への助成、高齢者の健康づくり支援事業、年長者の生きがいと創造の事業		老人クラブ数 913クラブ 会員数 45,078人 健康づくり支援事業 実施校区 17校区 生きがいと創造の事業 実施校区 559校区	老人クラブ数 915クラブ 会員数 43,372人 健康づくり支援事業 実施校区 13校区 生きがいと創造の事業 実施校区 584校区	・老人クラブ数 907クラブ ・会員数 42,057人 ・健康づくり支援事業実施校区 14校区 ・生きがいと創造の事業実施校区 549校区

高齢社会に関する啓発

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
48	敬老行事 (高齢者支援課)	長年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬うとともに、市民の高齢社会に対する認識を深めるため、さまざまな長寿のお祝いに関連する事業を行います。年長者の祭典 敬老祝金 地域で行われる敬老行事への助成		14,911人 支給額215,350千円 356団体 参加者数105,747人	15,617人 支給額226,970千円 361団体 参加者数108,050人	実施済(平成24年9月4日(火)芸術劇場大ホール) 実施中 随時受付(要申請、内容審査のうえ決定)
49	高齢社会を考える区民の集い (高齢者支援課)	高齢社会への共通の理解と認識を確立し、友愛訪問や地域助け合い活動などを活発にしていくことを目的に、区ごとに啓発イベントを開催します。		区民の集い開催 7区 参加者数 約3,500人	区民の集い開催 7区 参加者数 約4,000人	・区民の集い開催 1区 ・参加者数 約450人
50	(新)市制50周年記念事業生涯現役夢追いサミットの開催 (高齢者支援課)	本市の市制50周年記念事業として、高齢者が、いつまでもいきいきと社会や地域で活躍できる生涯現役社会の実現に向けた環境づくりを進めるための啓発イベントを開催します。				平成25年2月の実施に向け、準備中です。

第三次高齢者支援計画(生きがい・介護予防分野)における事業の実施状況
 世代間交流の促進

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
51	高齢者による子育て支援モデル事業(高齢者支援課)	高齢者による豊富な経験を活かした子育て支援を行うボランティア活動を支援することで、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一翼を担うとともに、高齢者自身の生きがいづくりなどを促進します。		延利用者数 552人	延利用者数953人	

(基本的な施策3)多様で主体的な社会貢献活動の促進
 多様な地域活動の支援

No.	事業名	事業概要	目標	22年度実績	23年度実績	24年度実施状況
56	高齢者を対象とした地域活動促進助成事業(まちづくり参画チャレンジ事業・シニア活動ステップアップ事業)(高齢者支援課)	高齢者を主たる対象とした生きがいづくりや健康づくりなどの地域活動に対して、助成を行います。		助成団体 5団体	助成団体 14団体	・高齢者地域活動助成事業(まちづくり参画チャレンジ事業とシニア活動ステップアップ事業を統合) 助成団体 9団体
57	(新)介護支援ボランティア制度の実施(介護保険課)	高齢者が介護保険施設等において、要介護者等に対する介護支援ボランティアを行った場合に、その活動実績を評価してポイント化し、ポイントを換金することができる事業の実施を検討します。	ボランティア登録人数 26年度:1,000人			事業開始に向け準備中です。
60	ボランティア活動推進事業(いのちをつなぐネットワーク推進課)	市内のボランティア活動の活性化のため、ウェルとばたと各区にある「ボランティア・市民活動センター」において、関係団体と協働して啓発や情報の収集・提供、需給調整などを行います。				・ボランティア登録団体 684団体 ・ボランティア登録人数 21,909人 ・ボランティア活動に関する相談件数 16,530件 (平成24年9月30日現在)